

最上野菜ファーマーズ担い手交流研修会開催要領

1 趣 旨

最上地域では、水田との複合経営の確立を図るため、野菜品目の導入が進み、現在では、にら、ねぎ、アスパラガス、トマト等の主要産地となっている。担い手の高齢化や後継者不足が年々深刻化している一方で、圃場と栽培技術を引継ぎ、さらに産地を発展させようと活動する若手生産者が増えつつある。

そこで、管内の若手野菜生産者を一堂に集め、栽培・経営技術のスキルアップを図るとともに、各品目の生産者同士の交流促進を図る研修会を開催する。今回は、農業経営改善のスペシャリストである、ファームサイド株式会社代表取締役の佐川友彦氏を講師としてお招きし、農場の経営改善事例から、身近なことからできる経営改善のノウハウを学び、農業経営の資とする。

- 2 主 催 山形県最上総合支庁産業経済部農業技術普及課
共 催 最上地域農業・畜産振興協議会

- 3 日 時 令和5年10月27日(金) 午後2時30分～4時30分

- 4 開催場所 山形県最上総合支庁5階講堂
(住所 山形県新庄市金沢字大道上2034、電話番号 0233-29-1330)

5 研修内容

＜基調講演＞「経営改善で実現するこれからの農業経営」
ファームサイド株式会社 代表取締役 佐川 友彦 氏

6 参集範囲

最上地域管内の若手野菜生産者、関係者等 約80名

7 その他

研修会終了後に情報交換会を開催します。

＜講師紹介＞ファームサイド株式会社代表取締役・阿部梨園マネージャー

佐川 友彦（さがわ ともひこ）氏

1984年生まれ。群馬県出身。東京大学農学部生命科学研究科修士卒。2014年より栃木県宇都宮市にある阿部梨園に参画。3年間で大小500件の業務改善を実施。改善事例を公開するクラウドファンディングを行い、その成果はオンラインメディアとして無料公開されている。現在は全国各地で講演等を行い、農家の経営体質改善と実務ノウハウのオープン化を旗振りしている。

